

越谷市議会 3月定例会報告



山田 ゆう子

代表質問 会派を代表して市長・教育長職務代理者に質問しました

質問項目

1. 「公共」を大切に、いのちとくらしを守る市政運営について

- ①令和7年度施政方針と予算編成について
- ②会計年度任用職員の現状と待遇改善について

2. 第1期越谷市こども計画について

- ①こどもへの意見聴取と参画について
- ②困難を抱えるこどもや家庭への重層的支援について

3. 障害者の職場参加について

- ①地域適応支援事業の意義に沿った受入先の拡大について

4. 持続可能な農業経営について

- ①物価高騰・農業経営者に対する物価高騰対策について
- ②イネカメムシ対策について

5. 誰一人取り残さない学校づくりについて

- ①インクルーシブ教育について
- ②不登校支援について
- ③イェナプラン教育について



詳しくは議会中継録画をご覧ください



清水 泉

総務常任委員会より 広報こしがや 実験的にポスティング実施へ

越谷市約164,000世帯のうち自治会への加入率は59%になっています。自治会離れが著しいなかで、自治会からはこれ以上住民の手による広報こしがやの配布は厳しい

状況とされています。市全体として自治会活性化を図るなかで、申し出のあった南越谷地区14,000世帯へモデル地区としてシルバー人材センターやポスティング業者による広報誌の配布を実験的に3ヶ月間行う事となりました。



実現しました！

昨年6月の一般質問で、市役所エントランス棟の多目的ホールの使い方について、こども連れなど様々な市民の方々が利用しやすいよう飲食可能にできないかと提案したところ、

今年の4月より飲食が可能となりました。申し込み時に庁舎管理課で詳細な説明がありますが、市民の声で使いやすい市役所になりました！



大田 ちひろ

子ども・教育常任委員会より

未来の子どもたちのために環境に配慮した整備の検討を

質問 しらこばと運動公園第二競技場の人工芝生化1億4,300万円について、人工芝の多くに含まれるとされる環境汚染や健康被害を引き起こす恐れのあるマイクロプラスチックや有機フッ素化合物(PFAS)についての対策は。



答弁 ガイドラインに従い、浸透性能が高い舗装構造の整備や人工芝、ゴムチップの流出を抑制するための雨水排水施設への金網などの設置、シューズ裏に付着したゴムチップを落とす専用マットを出入り口に設置する。業者からは今回使用する人工芝にはPFASは含まれていないという説明を受けている。

POINT!

大田の一言

マイクロプラスチックは、大気や海洋を漂流することで気候変動や生態系への影響を及ぼしています。人工芝は管理が簡単で価格も抑えられるかもしれませんが。しかし対策を行ったとしてもそこで運動したらユニフォームや靴下に付着したマイクロプラスチックが洗濯排水を通して海に流出します。気候正義の観点からもこれからの時

代の子どもたちのためにマイクロプラスチックを生み出さない天然芝での整備の再検討ができないものでしょうか。

※気候正義とは、気候変動による不公平を是正しようとする考え方です。主に先進国の活動が原因で、途上国や将来世代に大きな影響を与えています。

女性差別撤廃委員会への拠出金停止 対抗でなく対話を

国連の女性差別撤廃委員会（CEDAW）は昨年、日本政府に男系男子の継承しか認めていない皇室典範を改正するよう勧告しました。これに対し外務省が勧告は遺憾だとして委員の訪日拒否や資金提供の停止などを行ったことが稚拙で強硬的な対応だと女性団体などから批判されています。

日本は女性差別撤廃条約の批准国であり、4年に一度CEDAWからジェンダー平等施策の進捗状況を審査され勧告を受けています。昨年10月の定期報告では、皇室典範の改正の他にも選択的夫婦別姓制度の早期導入や女性の政治参画の促進等が勧告されており、勧告を真摯に受け止めCEDAWとの対話に応じることが批准国としてあるべき姿勢です。

ネットは共産党市議団との共同提案でこれらの撤回を国に求める意見書を3月議会に提案しましたが、賛成少数で否決されました。

皇室典範の改正は、国のあり方と密接に関わる問題であり、国民的議論が必要です。しかし、国家の最も

権威ある地位に女性が就くことが制度的に否定されているという事実は、「女性はリーダーシップの座に就くべきではない」という無意識のバイアスや「伝統的な性別役割分担を尊重すべき」という保守的な価値観と結びつきやすく、日本社会のジェンダー意識に少なからぬ影響を与えています。

日本政府は意に沿わない勧告だからといって背を向けるのではなく、委員会との対話を重ねる中でジェンダー平等への理解を深めてほしいものです。
（賛成：市民ネット、共産党市議団、こしがや無所属の会のうち2名 反対：自民党市議団、公明党市議団、立憲民主党市議団、越谷刷新クラブ、こしがや無所属の会のうち2名、日本維新の会）

《その他 ネットが提案者/賛同者となって提案した意見書》
○高額療養費制度の見直しは慎重審議するよう求める意見書
⇒全会一致で可決
○消費税のインボイス制度 廃止等を求める意見書
⇒賛成多数で可決

ネットの

議案 副市長1人体制から2人体制へ

副市長の定数を「1人」から「2人以内」に改正する議案が提出され、賛成多数で可決されました。提案理由は、喫緊の課題である治水対策の加速化を図るため、専門的知識や経験を有する国交省経験者を起用したいとのことでした。ネット

は賛成しましたが、定数を増やすことは財政負担も伴うため、今後新しく任命される副市長には確実な事業の推進が望まれます。



議案 教育長人事2度目の提案で可決

昨年12月議会において教育長任命議案が否決されたため、教育長不在の状態が続いていました。3月議会では最終日に追加議案として新たな教育長任命議案が提出され、賛成多数で可決されました。ネットは前回の任命議案にも賛成していましたが、これ以上教育長不在の状態が長引くことは教育行政の停滞を招くと考え、質疑のうえ賛成しました。



お手数ですが、切手をお貼りください

343-0023

越谷市東越谷1-5-17-1F

越谷市民ネットワーク行

差し支えなければ連絡先をご記入ください

住所

氏名

電話番号